

2016 年度前期 講義全体計画

講義名：EUとは何か

中村 民雄

I. 講義計画（全体の簡単な項目立て、要旨など）

1950年代に設立されたヨーロッパ共同体（EC）をもとに、1990年代以降に改造されてできた今日のEUについて、その役割・成果・意味合いを、EU域内と域外の各視点から、考える。それと並行して、EU法がEUやEU諸国においてもつ大きな意味についても学ぶ。

回 項目

- | | | |
|-------|------------------------------|--------------|
| 1～2 | EUはなぜつくられたのか | (EU域内の視座) |
| 3～6 | EUは何をしてきたのか | (EU域内の視座) |
| 7～8 | EUの組織と法 | (EU域内の視座) |
| 9～10 | EUは世界の諸国（とくに日本）との関わりはどういうものか | (EU域外の視座) |
| 11～12 | EUは現代世界にどんな意味をもつのか | (EU域内・域外の総合) |

このほか、適切なタイミングで、以下も論じる予定。

- ・イギリスのEU脱退国民投票
- ・中東からの移民難民のEUの対応危機

教科書：中村民雄『EUとは何か』（信山社、2015）

II. 参考文献

- 遠藤乾（編）『ヨーロッパ統合史（増補版）』（名古屋大学出版会、2014）
- 田中素香ほか『現代ヨーロッパ経済（第4版）』（有斐閣、2014）
- 中村民雄・須網隆夫（編）『EU基本判例集（第2版）』（日本評論社、2010）

EU とは何か（教材）一歴史的な発展から現在を理解する—

2016.4.11 資料 No. 2

担当 中村民雄（早稲田大学）

EU 憲法形成史・年表

年	主要な出来事
1945	第二次大戦の終結
1948	ブリュッセル条約（1954年にWEUへ）
1949	NATO（北大西洋条約機構）設立
1950	シューマン・プランの公表
1951	ECSC 条約署名（パリ条約、52年7月23日発効） (フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・オランダ・ルクセンブルクの6か国)
1954	EDC 条約の批准失敗、EPC 条約案も廃案。 WEU（西欧同盟）設立
1955	メッシーナ会議、ワルシャワ条約機構設立
1957	EEC, Euratom 条約署名（ローマ条約、1958年1月1日発効）(全6か国)
1960	EFTA (European Free Trade Area) 条約（イギリス、北欧、スイス等自由貿易協定）
1965	EC 機関統合条約（1967年7月29日発効） フランスの理事会「空席戦術」（6月より半年間）→EC 政治の危機→ルクセンブルクの妥協
1966	「ルクセンブルクの妥協」
1968	EEC 関税同盟の完成
1970	ウェルナー(Werner)報告書（通貨同盟案）
1972	ヴデル(Vedel)報告書（欧州議会の立法過程参加拡大案） 欧州首脳会議の定例化（→1986年の単一議定書で「首脳理事会」と制度化）
1973	EC 第一次拡大 デンマーク・アイルランド・イギリスの EC 加盟（全9か国） EFTA・EEC 間の自由貿易協定
1975	ティンデマンス(Tindemans)報告書（「欧州連合」について） ヘルシンキ最終文書の採択 (CSCE 首脳会議)
1979	欧州議会の第1回直接選挙
1981	EC 第二次拡大 ギリシャの EC 加盟（全10か国）
1983	欧州議会『欧州連合条約草案』の起草 理事会の「欧州連合に関する厳肅宣言」（シュツットガルトの厳肅宣言）
1984	欧州議会『欧州連合条約草案』の採択 欧州議会の第2回直接選挙
1985	ドロール EC 委員会の市場統合政策：『国境なき域内市場の完成』
1986	EC 第三次拡大 スペイン・ポルトガルの EC 加盟（全12か国） 欧州単一議定書（Single European Act）署名（1987年7月1日発効）
1989	欧州議会の第3回直接選挙 ベルリンの壁の崩壊（東西対立・冷戦構造が崩れ始める）
1990	東西ドイツの統合 パリ憲章（CSCE 首脳会議）（冷戦の終焉） 通貨政策と政治同盟について EC 条約改正の交渉開始（→EU 条約[マーストリヒト条約]）
1991	COMECON 解体 マーストリヒト首脳会議（EU 条約案に合意） ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキアと EC との貿易協定 ソビエト連邦の崩壊
1992	EU 条約署名（マーストリヒト条約、1993年11月1日発効） デンマーク、国民投票で EU 条約の批准否決 域内市場統合政策の期限（12月31日）
1993	デンマーク、第二回国民投票で EU 条約を批准 ドイツ憲法裁判所の EU 条約合憲判決 EU（マーストリヒト）条約の発効（11月1日）
1994	EEA (European Economic Area) 協定の発効（1月1日） 欧州議会の第4回直接選挙
1995	EU 第四次拡大 オーストリア・フィンランド・スウェーデンの EU 加盟（全15か国）
1996	EU 条約改正会議の開始
1997	アムステルダム条約（EU・EC 条約改正）署名（1999年5月1日発効）

1999	EMU 第三段階の開始（2002年1月より Euro 現金通貨が流通） 欧州議会の第5回直接選挙 アムステルダム条約の発効（5月1日） サンテール EC 委員会の汚職による総辞職→プロディ EC 委員会の発足
2000	EU 条約改正会議の開始 政治安保委員会（CFSP）[国際危機への迅速対応力強化]（3月） ニース首脳理事会にて「EU 基本権憲章」の政治宣言（12月）
2001	ニース条約（EU・EC 条約改正）署名（12月）（2003年2月1日発効） アイルランド、国民投票でニース条約の批准否決（6月）
2002	アイルランド、再度の国民投票でニース条約を批准（10月）
2003	EU（ニース）条約の発効（2月1日） EU 将来像諮問会議の「欧州憲法条約草案」（7月）
2004	EU 第五次拡大 リトアニア、ラトビア、エストニア、ポーランド、チェコ、スロバキア、スロベニア、ハンガリー、マルタ、キプロスの EU 加盟（全25か国） 欧州議会の第6回直接選挙 欧州憲法条約署名（ローマ、10月）
2005	欧州憲法条約の批准否決（5月、6月フランス、オランダ国民投票） 次善策の「省察期(period of reflection)」（2005年6月～2007年1月）
2007	EU 第六次拡大 ルーマニア、ブルガリアの EU 加盟（全27か国） リスボン条約（EU・EC 条約改正）署名（12月、2009年12月発効）
2008	アイルランド、国民投票でリスボン条約の批准否決（6月）
2009	欧州議会の第7回直接選挙 アイルランド、再国民投票でリスボン条約批准（10月）、リスボン条約の発効（12月1日） ユーロ危機(2009-2012)→ESM条約(2012)
2013	EU 第七次拡大（7月）クロアチアの EU 加盟（加盟国28カ国）
2015	中東難民の大量 EU 流入